



令和元年 11 月 8 日  
独立行政法人国立科学博物館

### 第 35 回国際生物学賞記念シンポジウムの開催について

独立行政法人国立科学博物館（館長：林 良博）及び独立行政法人日本学術振興会（理事長：里見 進）の主催により、標記の国際シンポジウム（令和元年 11 月 30 日（土）・12 月 1 日（日））を開催することとなりましたので、お知らせいたします。

国際生物学賞は、昭和天皇の御在位 60 年と長年にわたる生物学の御研究を記念するとともに、本賞の発展に寄与されている今上上皇の長年にわたる魚類分類学の御研究を併せて記念し、生物学の奨励を図るため昭和 60 年（1985 年）に設けられました。

このたび第 35 回（令和元年度）の受賞者は、ナオミ・エレン・ピアス博士（ハーバード大学）に決定しました。

博士の研究テーマは、昆虫と他の生物との共生関係で、アリとシジミチョウの共生、ランとハナバチの送粉共生などの研究がよく知られています。現在は、共進化、相互適応、適応放散、寄生と防御反応など多岐にわたるテーマに取り組まれています。今回の受賞を記念して、以下のシンポジウムを開催いたします。

➤令和元年 11 月 30 日（土） 【研究者、大学生・大学院生対象】

国立科学博物館（東京・上野）にて、ピアス博士の特別講演や、昆虫の共生、社会性、多様性と進化などに関するシンポジウム（言語：英語、特別講演のみ同時通訳）を行います。

➤令和元年 12 月 1 日（日） 【一般の方対象】

国立科学博物館（東京・上野）にて、日本の著名な研究者による昆虫の共生、社会性、多様性と進化に関する研究や成果を多くの方に知っていただくための講演会（言語：日本語）を行います。

つきましては、取材・記事の掲載など、本シンポジウム・講演会の広報に関しまして、特段のご支援・ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

なお、本件につきましては、下記ウェブサイトにおきましても情報を掲載しておりますので、ご参照ください。

<https://www.kahaku.go.jp/event/2019/11sympozoo/>

#### 本件についての問合せ

独立行政法人 国立科学博物館 連携推進・学習センター 連携推進課 担当：濱田・南部  
〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20  
TEL：03-5814-9860・9863  
E-mail：[IPBSympo@kahaku.go.jp](mailto:IPBSympo@kahaku.go.jp) HP：<https://www.kahaku.go.jp/>